

## No.08

# 竹林整備から考える、竹と私たちの暮らし

## 北アルプス学びと遊びの旅行社

竹林は、手入れをすることでいろいろな生き物の住処になり、タケノコが採れる豊かな環境が保全されます。古来から日本人の生活や文化において、成長が速く、軽くて丈夫で加工しやすい竹は様々な形で使われてきましたが、竹製品がプラスティックや金属に置き換わったこともあり、竹林の利用から遠ざかってしまいました。その結果、竹が増えすぎて森林や畑を侵食したり、密生しすぎて荒れた竹林が増えて全国各地で問題になっています。

古い竹や折れた竹を伐っていく竹林整備の作業を通して、竹林との関わり方や竹の利活用を考えます。



|        |             |
|--------|-------------|
| 実施可能時期 | 4月～11月      |
| 所要時間   | 2時間         |
| 対象     | 小学生・中学生・高校生 |
| 対応可能人員 | 20～40名      |

### ① プログラムの流れ

(30分～1時間)

はじめの会 == 竹林整備 ==

(30分)

筍汁の食体験 == 解散

※会場は受入人数と竹林の状況に応じてご案内します。

※ご希望によって、竹を使った芸術祭の参加作品を鑑賞したり  
エピソードを聞いたりすることもできます。(+1時間、+1000円)

### Learning Point

#### 探究学習のポイント

#### 事前学習

##### 課題の明確化

- ・日本(または自分の地域)の竹林分布を調べ、どれだけ資源があるか知る。
- ・竹でできた製品は何があるか調べ、自分の生活と竹との関わりを考える。

#### 北アルプス国際芸術祭における竹の活用と地域づくり

信濃大町を舞台に展開される北アルプス国際芸術祭では、竹を使った作品がいくつも作られてきました。地元の竹を使ってアーティストと共に作品を創り上げることが、地域の誇りにつながっています。



密集した竹を次々伐り出す作業は、ついで夢中になってしまい楽しさと達成感です。



みんなで協力して竹を伐り出します。協働作業で仲間の絆も深まります。



現在公開している竹の作品は、大町温泉郷の「アキノリウム」。楽しい動きと音のアートで、モノづくりの楽しさが詰まった人気作品です。

#### 現地学習

##### 答えを導く

- ・ノコギりで竹を伐り、林を整備することで、竹の生命力やしなやかさを体感する。
- ・伝統食である筍汁を食べることで竹の恩恵を感じる。
- ・希望に応じてアート作品を鑑賞したり制作エピソードを聞くことで、活用の可能性を感じる。

#### 事後学習

##### 掘り下げる

- ・竹の利活用を考える。
- ・希望に応じて竹を一部持ち帰り、作品制作にチャレンジする。



# 竹林整備から考える、竹と私たちの暮らし

## 事前学習

課題の明確化

- ・日本(または自分の地域)の竹林分布を調べ、どれだけ資源があるか知る。
- ・竹でできた製品は何があるか調べ、自分の生活と竹との関わりを考える。

## 現地学習

答えを導く

- ・ノコギリで竹を伐り、林を整備することで、竹の生命力やしなやかさを体感する。
- ・伝統食である筍汁を食べることで竹の恩恵を感じる。
- ・希望に応じてアート作品を鑑賞したり制作エピソードを聞くことで、活用の可能性を感じる。

## 事後学習

掘り下げる

- ・竹の利活用を考える。
- ・希望に応じて竹を一部持ち帰り、作品制作にチャレンジする。